

歴史(奈良時代②・人々の暮らし編)

唐の均田制にならって、6年ごとに①_____がつくられ、登録された
②_____歳以上のすべての人々に③_____が与えられ、その人が死ぬと
国に返すという制度(④_____)ができた。そして、収穫量の約3%
の稲を納める⑤_____や特産物などを納める⑥_____、⑦_____などの税
が課された。また、⑧_____として、九州の警護に送られる人もいた。
その後、⑨_____が足りなくなったため、723年に⑩_____を出す
が、あまり効果がなかった。そこで⑪_____年に、新しく開墾した土地は
私有が認められ、子孫に伝えていいという⑫_____を出した。
力のある貴族や寺社は、農民に田を開墾させ、私有地(⑬_____)を
ひろげていったので⑭_____は崩れていった。

